



社会福祉法人 **であいの里 さやま保育園**



【法話】 降誕会 (ごうたんえ)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言が全国一律延長されたことに伴い、登園自粛・家庭保育をお願い致しておりますこと、心苦しいなか、御理解頂き御協力頂いておりますこと、まず御礼申し上げます。引き続き、御協力、お願い致します。

浄土真宗の宗祖親鸞聖人は、承安3年(1173年)5月21日、京都の東南、日野の里で生まれられました。5月21日を、『降誕会』と言います。

親鸞聖人は、真実の阿弥陀さま、それに対して、私は、煩惱でいっぱい、みられました。

このコロナウイルス感染者の方が大勢おられます。その治療看護の医療関係者・エッセンシャル・ワーカーの方々には、尊敬・感謝の念しかありません。ところが、一部、感染者・医療従事者等の大切な御家族に対して、不平等な嫌悪感・偏見・差別があるようです。哀しく寂し事です。悪いのは、ウイルスだけです。正しく知り、正しく恐れましょう。

阿弥陀さまの眼は、その「いのち」の平等を見ておられます。だれひとりとして捨てておくことはできないのです。すべてのものを、「いのち」の尊さにめざめさせようと、「南無阿弥陀仏」と働きかけてくださっているのです。

親鸞聖人の、ご誕生をお祝いするなか、その御恩を偲び、報恩謝の「南無阿弥陀仏」の念仏の日暮らし、送らせていただきます。 合掌

今月の行事予定

- 5月の礼拝はお休み 12日 交通指導
- 21日 降誕会 29日 誕生会
- 28日 避難訓練・クッキー作り

\*\*保育目標 讃嘆 一たたえます。

- ・降誕会には、親鸞さまのお話を聴いて、お祝いをする。
- ・春の自然の中で、友だちや保育士と関わりながら、春の遊びを楽しむ。



入園、進級して1ヶ月.....

入園、進級式を終えて2週間、新型コロナウイルス感染症に係る緊急非常事態宣言となりました。お休みも取れず、勤務をされていらっしゃる保護者の方、大変お疲れ様です。

まだ、慣らし保育中の方もありますが、新しい保育室、新しい担任にも慣れ、少しずつ不安もなくなり、笑顔が見られるようになったところでした。出席人数が少なくとも、職員は例年のように春の遊びを中心に、子ども達と遊びを楽しんでいます。先生のひざで絵本を読んでもらったり、積み木やお人形、ままごと遊び、砂場で型抜きや草花遊び、泥団子作り、段ボールにお絵かきなどしています。その中で、子ども達の消毒・保育室の消毒も一日の日課の一つとなりました。

何不自由なく生活してきた私たちです。ある作家さんが「世界的なウイルス禍によって、人々は生命の危機に直面していますが、人間、自然、環境、人生といったものに、改めて深い視線を向ける 때가到来したのかもしれない。文学に限らず芸術はそれに答えをもたらす力を持っている」と、言われておられました。一日も早く、通常保育ができることを願っています。

お誕生日 おめでとう



ほし組	まいるちゃん	6さい
もも組	ゆうさくくん	4さい
	あいこちゃん	4さい
うさぎ組	そうたくん	3さい
	めいちゃん	3さい
	えまちゃん	3さい
あひる組	はるとくん	2さい
	うみちゃん	2さい
	しおりちゃん	2さい
	ようちゃん	2さい

おうちの方へお知らせ



\*登園自粛要請が24日(日)まで延長となりました。ご協力をお願い致します。

\*夏服の着用について 5月11日(月)より、夏服着用とさせていただきます。(夏の遊び着 着用OK)

\*21日(木)は、しんらんさまがお生まれになられた降誕会です。各クラスごとに、お仏壇にお参りした後、『親鸞さま』のビデオをみます。